

# おやま 市議会だより



第272号

## ●主な内容

### 市長が小山地区定住自立圏の中心市を宣言

議案とその内容……………②	委員会報告……………③～⑤
人事案件……………②	市政一般質問……………⑤～⑨
陳情……………②	次会定例会の予定……………⑨
特別委員会の設置……………②～③	表彰……………⑩
審議結果……………③	議会日誌……………⑩

平成 27 年 8 月 1 日号



絹土地改良区の田んぼアート

小山市議会

編集 議会広報委員会

# 6月 定例会のあらまし

平成27年6月8日～6月29日

平成27年第3回（6月）定例会は、6月8日～29日までの22日間の会期で開かれました。本定例会では、平成27年度一般会計補正予算案をはじめ、条例の制定、一部改正案などについて審議しました。

6月8日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案9件、報告3件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案件1件を即決しました。

6月10日～12日、15日は、17人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

15日は上程議案に対する質疑の後、各常任委員会への付託を行い、これを受けて、6月17日～19日、22日、23日に各常任委員会がそれぞれ開かれ、審査を行いました。

6月29日には、各常任委員長報告が行われ、審議の結果、議案8件を可決、陳情1件を継続審査としました。さらに、市長より小山地区定住自立圏構想の中心市宣言が行われ、定例会を閉会しました。

## 主な議案

6月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

### ◆小山市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定——いじめ防止対策推進法の趣旨を踏まえ、本市におけるいじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進するため、関係組織を設置する条例を制定するもの。

（内容）市が設置する小山市いじめ問題対策連絡協議会その他の組織に関し、必要な事項を定める。

（施行日）公布の日

### ◆小山市路上喫煙の防止に

関する条例の制定——道路等、屋外の公共の場所における喫煙は、環境美化を損ねるだけでなく火傷の危険や周囲への健康被害、火災の危険性もあるため条例を制定するもの。

（内容）市民等の身体および財産の安全の確保を図り、安心・安全で快適な生活環境の向上に資するため、路上喫煙の防止に関し、市、市民等および事業者の責務を明らかにし、禁止区域内での路上喫煙に対して過料を徴収することについて、必要な事項を定める。

（施行日）平成27年7月1日

## 人事案件

ただし、禁止区域内での路上喫煙の禁止および過料については、平成28年1月1日

### ◆人権擁護委員候補者の推薦

小山市大字間中1280番地1

福田 文江（再任）

昭和23年1月5日生

## 陳情

6月定例会では、新たに受理した陳情1件について審査した結果、継続審査としました。

### 新たに受理したもの

陳情 1件

## 決算審査特別委員会

一般会計の決算の認定に関する事項を審査するため設置するもの。

◎安藤 良子 ○森田 晃吉

土方 美代 佐藤 忠博

渡辺 一男 植村 一

橋本 守行 福田 幸平

荒井 覚 篠崎 佳之

小林 英恵 大出 ハマ

小川 亘 山野井 孝

青木美智子 塚原 俊夫

野村 広元 石島 政己

## 小山駅周辺都市整備対策特別委員会

小山駅周辺の都市整備に關し、よりよいまちづくりを進めるよう調査研究を進めるため設置するもの。

◎生井 貞夫 ○植村 一

渡邊 一郎 土方 美代

嶋田 積男 森田 晃吉

大木 英憲 橋本 守行

福田 幸平 岡田 裕

提出してほしい。  
▽審査結果 継続審査

## 特別委員会を設置

（平成27年6月8日設置）

◎委員長、○副委員長



# 平成27年第3回定例会（6月）審議結果

## 議決結果

議案番号	議案名	議決結果	
<b>予 算</b>			
議案第55号	平成27年度小山市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
<b>条 例</b>			
議案第56号	小山市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第57号	小山市路上喫煙の防止に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第58号	小山市在宅ねたきり老人等介護手当支給条例の一部改正について	原案可決	全会一致
<b>その他の議案</b>			
議案第59号	小山市公共下水道扶桑水処理センター更新工事業務委託協定の締結について	原案可決	全会一致
議案第60号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第61号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第62号	抵当権等登記の抹消登記請求訴訟の提起について	原案可決	全会一致
議案第63号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致
<b>陳 情</b>			
陳情第27-4号	「安全保障関連法案の徹底審議と国民への十分な説明を求める意見書」の提出を求める陳情書	継続審査	賛成多数

## 賛否一覧表（起立採決）

議決結果	賛成	反対	高橋	渡邊	土方	佐藤	渡辺	嶋田	森田	荻部	大木	植村	橋本	福田	岡田	荒井	篠崎	小林	福田	安藤	大出	荒川	小川	山野井	青木	関	石川	塚原	生井	野村	角田	石島	
			栄	一郎	美代	忠博	一男	積男	晃吉	英憲	一	守行	幸平	裕	覚	佳之	英恵	洋一	良子	ハマ	美代子	巨	孝	良平	正雄	俊夫	貞夫	広元	良博	政己			
陳情第27-4号	継続審査	22 : 7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○=継続審査を可とする、×=継続審査を不可とする。  
 ※議長（関 良平）は採決に加わりません。

**総務**

▼財産の取得について（災害対応特殊救急自動車等の購入）  
 問 この車両の購入に際し、入札業者を考えると車両の入札参加有資格業者より資機材の入札参加有資格業者の方が多くと考えられる。競争原理を促進した方が良く考えるが、車両と資機材とを分けて購入することはできないか。  
 答 今回の車両購入について



**委員会審査から**

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会では慎重な審査を経ていきます。6月定例会の委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

公共施設等の整備、再編について調査研究をするため設置するもの。

◎安藤 良子 ○大出 ハマ  
 高橋 栄 佐藤 忠博  
 渡辺 一男 荻部 勉  
 荒井 覚 篠崎 佳之  
 小林 英恵 荒川美代子  
 小川 巨 塚原 俊夫

旧市民病院の施設跡地に回復期リハビリテーション病院の設置、並びに病床確保を含めた跡地利用問題を調査研究するため設置するもの。

◎小川 巨 ○角田 良博  
 荻部 勉 植村 一  
 小林 英恵 福田 洋一  
 生井 貞夫 石島 政己

**公共施設等整備調査 特別委員会**

福田 洋一 山野井 孝  
 青木美智子 石川 正雄

**旧市民病院施設活用等検討 特別委員会**

野村 広元 角田 良博  
 石島 政己

は資機材とのマッチングも必要であることから一括で購入をしていきますが、少しでも購入額が安くなるよう、資機材と分けて購入することも、今後検討したいと思えます。

問 主な装備品の中に、災害対応特殊救急自動車はハイテクバックボードおよび医療情報端末タブレットを除くとあるが、その理由は。  
 答 ハイテクバックボードは精密機械ではない上にまだ新しく、医療情報端末タブレット



## 民生

トも導入されたばかりで、現在の車両に積載されているものを更新車両に付け替えて使用するため、それらは除いてあります。

▼小山市路上喫煙の防止に関する条例の制定について

問 路上喫煙が禁止される区域をどのように周知するのか。

答 条例の施行に当たっては、7月1日から周知啓発期間とし、その内容について、広く周知していきます。周知方法としては、広報おやま、行政テレビで行うほか、啓発チラシの配布も予定しています。また、小山駅周辺が、路上喫煙の禁止区域となるため、駅利用者の方の目にも留まりやすいところに、啓発用の看板等も設置したいと考えています。

問 路上喫煙の禁止区域における違反行為に対しての対処方法は。

答 路上喫煙防止指導員を2名委嘱し、朝夕の通勤時間帯を中心に見回りを行い、違反者を発見した場合、過料2000円を現金で徴収することになります。

▼小山市在宅ねたきり老人等介護手当支給条例の一部改正について

問 第3条の受給権者について、「市内に住所を有し」という文言が追加されているが、これまでに、市外の方が受給対象となったことはあるのか。

答 これまでも市内在住の方のみを対象にしていきましたが、明文化されていなかったため、今回の改正では、改めて、その文言を付け加えたものです。問 今回の改正により手当受給のための手続きに変更点はあるか。

答 今後、規則の変更はありませんが、今回の改正では、資格喪失の様式が追加となるほかには、手続き上での大きな変更点はありません。

## 教育経済



▼小山市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について

問 小山市のいじめの現状とその対応は。

答 いじめの認知件数については、県の指導もあり具体的な件数等については公表していませんが、以前と比べて大幅に減少しています。いじめに対する取り組みについては、

国に先駆け、平成24年度に、教育委員会内にいじめ問題対策検討委員会を設置し、提言書をまとめ、各学校でいじめ防止のアクションプラン（行動計画）を策定し、平成25年度には、いじめゼロ子どもサミット、いじめ防止のための市民会議を立ち上げました。

現在は、いじめ防止のためのスローガン、のぼり旗を各学校に設置するとともに、特に子どもたち自身で問題解決を図るために、子どもたちの集会において、いじめについて具体的に話し合わせ、自分たちで意識づけをさせています。さらに、教職員の資質能力向上を図るために、夜間の自主研修であるナイトカレッジや教育研究所主催の研修において、学級づくりのための研修を実施しています。

## 建設水道



▼財産の取得について（琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳周辺整備事業）

問 琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳の周辺整備において、今後用地買収を続けるのか。

答 全体の事業費や状況を確認しながら、できれば公有化

を進めたいと考えています。▼抵当権等登記の抹消登記請求訴訟の提起について

問 訴訟に至る経緯は。

答 道路改良事業の対象である市道3230号線の用地取得の際、民有地2筆に抵当権等の権利が付いており、その抵当権の設定者である法人は既に昭和56年に解散していたため、土地所有者において抵当権の抹消手続きは困難であるとのことから、市の顧問弁護士と相談の上、用地取得後に市が抵当権の抹消を行うことを前提に、平成24年12月27日に土地売買契約を結び、その土地を取得しました。その後、道路整備工事前に市が抵当権等の抹消登記を行うため、今回、訴訟を提起するものです。

## 予算審査



▼平成27年度小山市一般会計補正予算（第1号）

問 補正計上されている畜産競争力強化対策整備事業費の詳細は。

答 この事業は畜産業の生産基盤の確保、国際競争力の強化のため、経営体の施設整備を支援するために、国が創設

した補助金交付事業です。この事業における市の負担はなく、国の補助金が県、市を通して申請者に交付されるものです。今回の申請者は、事業主体が寒川畜産クラスター協議会で、代表者は有限会社館野畜産です。なお、この協議会は、他にJA全農とちぎ、JA東日本くみあい飼料株式会社、小山市養豚組合等により、構成されています。今回の施設整備の内容は、主に豚舎の新設工事や、浄化槽処理施設の新設工事等で、総事業費5億3870万5000円のうち、46%にあたる、2億3553万5000円が国から補助されるものです。この事業により、年間出荷頭数を、平成25年度の1万6000頭から、平成28年度には2万5000頭にするなど、目標が掲げられています。

問 今回の申請者の事業計画における目標値は。

答 計画では、出荷頭数の他にも、平成25年度5億3000万円であった売上高を、平成28年度には9億円にするのと、平成25年度は11人であった地域内の雇用者を、平成28年度には15人にするなど等を目標値として掲げています。



問 小規模の畜産農家が経営の安定を図るために連携できるように、市が働きかけを行うべきではないか。

答 市にとって畜産業はブランドでもあり、今後は一層の振興を図る必要があります。

小山農協肥育牛部会や小山市養豚組合等の関係組織ともよく連携し、現場の意見を聞きながら、市としても事業の推進を図っていききたいと考えています。

## 市政を問う

### 6月定例会市政一般質問

6月10日から12日、15日に、17人の議員が市政の諸問題や将来の展望などについて一般質問しました。

### 保育士の採用計画

石島 政己

問 臨時職員の保育士が7割を占める公立保育所は、保育士の確保ができないために定員割れの状態となっているが、早期解消させるための採用計画を。

総務部長 保育所整備計画に基づき保育士の採用については、平成26年度より2名ずつ行っています。今後の採用についても、保育所整備計画で定められた保育所の民営化や統合の進捗を見極めながら行うことが基本であるとの考えから、環境の変化と保育所整

備計画との整合性を図りながら、保育士の採用人数を検討していきます。

保健福祉部長 公立保育所の入所率は90%を切っているため、正規職員の採用について、今後も退職者数に見合う人数を確保していききたいと考えています。

### 小山駅周辺都市整備

問 ロブレ対策は小山市の最大の課題である。駅東口広場のマンション建設を凍結し、駅西口の駅前活性化策に最大の力を入れるべきではないか。

都市整備部長 現在ロブレ対策を庁内一丸となつて、新た

な核となる施設の導入を検討していますが、併せて、人口減少の著しい小山駅西地区の約76haを街なか居住推進区域として、平成18年度から街なか居住推進事業を力強く進めています。駅東口広場のマンション建設については、国が進める地方創生と連動し、本市の推進する人と企業を呼び込む施策の目玉事業であり、中心市街地の活性化、定住促進を図る最適な事業です。小山駅中央自由通路の開通により一体化された駅東西の市街地の、更なる発展に大いに寄与するもので、必要不可欠な事業として推進しています。

### 市長の政治姿勢

角田 良博

問 職員との良好な人間関係を構築すべく、市長の政治姿勢を改善していくべきではないか。

市長 市役所は市内最大のサービス機関であるとの考えから、市民の皆様に満足していただける行政サービスの向上のために、職員には常に意識改革を求めつつ、市民の目線で物を見、考える習慣を徹底し、同時に行政人としての感性、センスを磨くよう指導し

てきました。市長と職員においては、適度な緊張関係が必要であると考えており、これまで部下への指導においても通常の教育・指導の範囲で行っていると考えていますが、職員には満足のいく仕事が行われた時など、仕事の節目節目において労いの言葉をかけるなど、日ごろから良好な関係を築くよう心掛けています。

### 本場結城紬復興振興

問 平成26年に採用した紬織士について、伝統技術の継承を目指すのであれば、後に続く人材を採用し、切磋琢磨できる環境づくりが必要ではないか。

経済部長 本場結城紬の後継者の確保・育成のため、平成26年度に初めて紬織士を採用し、伝統技術の継承に取り組んでいます。紬織士は、産地と行政をつなぎ、本場結城紬復興振興を目指す広告塔としての役割も期待できるため、複数の紬織士が切磋琢磨できる環境づくりは、技術の研さんのみならず、人材育成の点からも、非常に有益であるため、増員について検討していきます。



伝統技術を継承する紬織士

### AEDDのコンビ設置

生井 貞夫

問 市庁舎や小中学校等に設置しているAEDD(自動体外式除細動器)は、休日や夜間に使用できないので、コンビ二に設置できないか。

副市長 市民の不測の事態に対応できるように市の本庁舎、出張所、保育所、小中学校、学童保育館、コミュニティバス等142カ所153台のAEDDを設置しており、消防本部調べでは、民間施設にも155事業所162台が設置されています。しかし、多くの事業所では、利用できる時間帯が限られ、夜間や休日は利用できない状況にあることから、24時間営業のコンビニエンスストアに設置できれば、常時利用できる環境が整備さ

れ、さらなる救命率の向上につながるものと考えられるため、市内コンビニエンスストアの設置協力への意向確認を踏まえた上、来年度の導入に向けた検討を進めていきます。

**定住促進策**

**問** 若者の定住促進を図るため、一定期間小山市に在住した場合、奨学金の返還を全額免除する制度を創設しては。  
**教育部長** 従来の貸与型の奨学金制度を併用しながら、若者の定住促進を図るために、大学、短大、専門学校等に進学した方を対象に、返還を免除する新しい奨学金制度について、一定の成績要件等を満たし、かつ卒業後に一定期間小山市に定住を続けるということを条件に、来年度の導入に向けて検討していきます。

**介護保険料**

石川 正雄

**問** 介護保険料について問う。  
**保健福祉部長** 介護保険料は3年ごとに介護サービス料や認定者数、高齢者数等を推計し算定されますが、今回、高齢者の増加に伴う介護サービス料の伸びや第1号被保険者の費用負担割合が21%から22%に変更になった結果、適正な介護サービスの利用や介護予防事業の実施、健全な介護保険財政運営のために、月額標準保険料は5518円と上昇しました。団塊の世代が75歳となる2025年の本市の保険料は8263円に達すると推計され、保険料上昇の抑制が課題となっています。市としては、これまで以上に介護予防事業を強化することも、新しい介護予防日常生活支援総合事業を推進して、介護予防につながる仕組みを実現させることで保険料の上昇を抑制したいと考えています。

**戦争法**

**問** 戦争法について自治体の要請を問う。

**総務部長** 現在国会では、わが国と国際社会の平和および

安全のための切れ目のない体制の整備を目的とする、いわゆる平和安全法制として、国際平和支援法および平和安全法制整備法の2法案が審議されているところです。これら平和安全法制の中には、自治体の責務や要請など自治体に関連する部分も含まれていますので、引き続き国会の審議を注視していきます。

**市庁舎の駐車場・駐輪場の整備**

安藤 良子

**問** 子ども連れや妊婦、高齢者が、庁舎前駐車場内で安全に駐車、駐輪できるように、対策はあるか。

**総務部長** 駐輪場は、来客用と職員用の区別が分かりにくいいため、来客用の案内表示の徹底や、駐輪場内にラインを引くなどの整理を行い、来客用のスペースも増やす考えです。駐車場は、子ども連れや妊婦、高齢者などが保健福祉センターを利用する際、離れた場所に駐車することで不便をかけるしまうことがあり、今後はイベント開催時の通知やポスターで公共交通機関の利用や車の相乗りを周知するとともに、健診時には保健福祉センター南側駐車場の公用

車を移動して来客用スペースを確保することや、庁舎前駐車場の一部に優先スペースを設ける等の対策を講じます。

**「フット・トキの舞」の舞うところ**

**問** コウノトリ・トキの舞うふるさとづくりにおいて、現在から将来についての構想はどうなっているのか。

**総合政策部長** 渡良瀬遊水地周辺において、多様な生物が生息するふゆみずたんぼ等の拡大に取り組んでおり、安全・安心な食や豊かな自然環境、水塚・揚舟など治水に係る歴史的资源を活用し、東京圏の都市との交流をさらに進めるとともに、市内外に本市の魅力を発信し、地域振興につなげる考えです。市民等で構成するコウノトリ・トキの舞うふるさとおやまを目指す会と

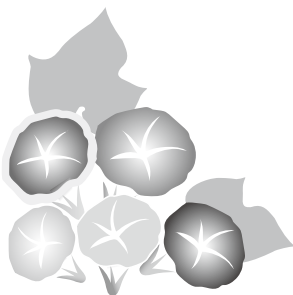
もさらに連携していきます。

**路上喫煙の防止に関する条例**

植村 一

**問** 路上喫煙の防止に関する条例の概要および条例施行に伴う喫煙所の設置について、市の考えを伺う。

**市民生活部長** この条例は路上喫煙を制限することで、吸い殻の投げ捨てや受動喫煙、やけど等の、周囲への健康被害や火災等を総合的に防止しようとして、7月1日施行しようとするものです。条例は市内全域を対象に市民や事業者の責務を規定し、特に利用者の多い小山駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定して、路上喫煙防止指導員を置き、平成27年12月末までを周知期間とし、翌1月1日から違反者への過料の処分を行おうとするものです。また、喫煙所設置により喫煙マナーの向上につながると考えており、喫煙所を喫煙者への啓発拠点にすることによっても、直接的、重点的な啓発が可能となるため、駅の東西に1カ所ずつ設置する予定で検討しています。



下生井地内に設置された人工巣塔



## 新市民病院移転後のバス路線

問 新市民病院へのコミュニティバスの乗り入れおよび運行路線の充実について、市の考えを伺う。

副市長 移転開業予定の新市民病院への乗り入れは、小山西口からの市民病院線と間々田駅からの間々田東西線の路線再編による準備を進めています。さらに、関東自動車が行う小山駅東口からの駅東循環線の乗り入れも要請しています。また、新市民病院は大谷中南部、間々田東部地区のデマンド区域でもあり、それらの乗り入れの準備も進めています。各方面からの乗り入れについては、現在公共交通ネットワークの考えから、小山駅、間々田駅、思川駅、小金井駅を起点とし、路線型バスやデマンドバスで結び、各方面への移動ができるよう整備をしていることから、乗り継ぎ利用となるため、乗り継ぎサービスに加え、乗り継ぎ負担に配慮した運行時刻や便数を検討しています。

## 小山駅東駐輪場

荻部 勉

問 小山駅東口駐輪場が東西自由通路付近で大変混雑しており、早急な対策が必要だが、どのように考えているのか。

市民生活部長 小山駅東駐輪場は、小山駅中央自由通路の完成後、小山駅南口が閉鎖されたこともあり、中央自由通路付近の駐輪場に利用者が集中し大変混雑しています。この対応として、今年度中に中央自由通路周辺にコイン式ラックを増設し、一時利用者を誘導します。また、定期利用者と一時利用者の駐輪エリアを分けることや、出入口を一本化し駐輪場の流れを良くするなど、課題解決に向けて検討を進めていきます。

## 新市民病院移転先周辺整備

問 新市民病院移転先の周辺道路の拡張や新設等、城南地区の交通渋滞緩和に関してどのような計画があるのか。

市長 新市民病院周辺の市道整備計画については、移転後の新市民病院利用者が周辺道路から病院西側の市道30号線を経由されると想定されるため、市道30号線の幅員を28

mに拡張するとともに、市道30号線の病院入口となる交差点に、南からの右折レーンと北からの左折レーンを設けました。また、幅員15mに拡張し整備中の病院南側の市道3770号線と東側の新設市道7110号線の交差点にも、左折レーン、右折レーンを設け、円滑な通行となるよう整備しており、各路線とも平成28年1月の新市民病院移転開院前に完成させます。なお、市道3770号線の東への延伸で、今後建設を予定している市立体育館へのアプローチ道路となる市道7154号線についても、本年度に用地を買収し工事に着手する予定です。

## 市役所本庁舎の整備

橋本 守行

問 市役所本庁舎の早急な建設が必要と思われるが、今後どのように進展されるのか。

総合政策部長 本庁舎の整備については、耐震補強および建て替えの両面から調査研究を行ってききましたが、平成24年度の新聞社の行った市民アンケート調査において、本庁舎整備については耐震化で対応すべきとの意見が多かったことも踏まえ、現在の厳しい

財政状況下に早期に本庁舎の安全性を確保するための方策は、耐震補強による耐震化が現実的であると判断し、工法について検討を進めてきました。この中で、平成26年度には、財政負担の少ないと言われる免震工法についての検討も行いましたが、本庁舎が崖地にあり特異な構造を有していることで、耐震工法の方が経済的であることが明らかになりました。その結果を平成27年3月に開催された第7回公共施設等整備調査特別委員会において説明しましたが、耐震化のみならず、老朽化対策もあわせて検討するよう指摘されたところです。そのため、現在、老朽化対策を含めた耐震化の調査を進めており、調査が終了次第、特別委員会で説明する予定です。



現在の市役所本庁舎

## 定住自立圏構想

問 定住自立圏構想では、どのようなことに取り組むのか。

市長 定住自立圏構想において取り組みを想定している事業は、①生活機能の強化として、医療サービスのさらなる向上を目指しての地域医療連携体制整備、圏央道開通により立地利便性の高まる新4号国道沿線の地方創生としての新規工業団地開発、住民生活の安全安心のさらなる向上を目指しての消防・救急体制の連携強化など、②結びつきやネットワーク強化として、住民の交通利便性向上を目指しての、コミュニティバス等、地域公共交通の連携強化など、③マネージメント能力強化として、行政のさらなる効率化を目指しての職員研修の充実や、高度な専門家等の人材確保事業等です。

## 豊穂川周辺整備

森田 晃吉

問 豊穂川周辺整備について考えは。

市長 豊穂川と思川合流部の排水対策については、県が樋門の設置を、市が内水排水対策を行うこととしていま

す。県は、平成26年度から27年度において用地測量、用地取得を進め、準備が整いしだい、樋門設置工事に着手する予定です。市は平成26年度に、豊穂川内水処理計画策定業務を発注し、豊穂川堤防のかさ上げおよび遊水地の設置を中心とした計画を策定し、工法・構造について、樋門構造と調整を図るため、県と協議を行っています。協議終了後、地元で説明し、平成28年度から工事に着手したいと考えています。

**穂積グラウンド整備**

問 穂積グラウンド整備計画と土の入れ替えについての考えは。

教育部長 今年度は西側の駐車場の整備、樹木の剪定を実施する予定です。平成28年度は、県道拡幅工事に伴いグラウンド東側のセットバックが必要となることから、桜やフェンスを移転予定です。土の入れ替えについては、現在は駐車場などでも使われている状況もありますので、グラウンドの状況や活用状況などを調査した上で、適切な整備方法を検討していきます。

**横倉第一雨水幹線整備**

佐藤 忠博

問 雨ヶ谷、横倉新田地区で浸水被害が発生しているが、雨水排水対策の横倉第一雨水幹線の整備スケジュールは。

建設水道部長 横倉第一雨水幹線の整備は、管径2000mm、延長約2km、総事業費約20億円でありますが、工事費を年間3億から4億円を確保しながら、約6年で完成させたいと考えています。平成27年度は、国、県と協議を進めながら実施設計に着手し、平成28年度から工事に着手する予定です。その間の浸水被害軽減を図るため、雨ヶ谷第二および第三調整池について、平成27年度末の完成を予定しています。

**ダチョウウのブランド化**

問 喜沢にある小山だちょう園と連携し、医療分野にも貢献できる可能性のあるダチョウの「おやまブランド」化は。

市長 現在推進中の小山市桑の実プロジェクトの中で、地元産の桑の葉を餌として食べているダチョウを活用した、健康で安心安全な商品の開発を研究しています。ダチョウの飼育、食肉処理、加工、販売を一貫して実施し、商品化に成功している先進事例などを研究し、桑の葉を餌として食べているダチョウを活用した商品の開発を推進し、新おやまブランドとして育てていきたいと考えています。

**個人質問(質問順)**

**城南地区新設小学校**

塚原 俊夫

問 城南地区に新設される小学校の建設スケジュールと事業費用の計画は、どのようなものか。

教育部長 現在、基本設計、実施設計を簡易公募型プロポーザルにより実施しており、6月中に実施事業者を選定、7月に選定事業者との契約を考えています。今回のプロポーザルでは平成28年6月15日までに設計を完了することとし、平成28年9月議会で議決をいただき、平成30年12月末までに工事を完成させ、平成31年4月の開校を考えています。建設の予算は基本構想の中で総事業費を約35億5000万円と試算しており、財源は国からの補助で約6億4000万円、地方債で22億5000万円を予定しています。このほかに国、県の補助を確保できるよう全力を尽くしたいと考えています。



新設小学校建設予定地

**マイナンバー不正対策**

荒川 美代子

問 マイナンバー制度が来年1月から運用されるが、不正利用防止対策はどのようなものか。

総務部長 マイナンバー制度に関係するシステムでは、なりすまし操作の防止のため、端末機を操作する際に静脈認証方式を採用するなど、マイナンバー制度に対応するための改修を準備しています。また、個人情報取り扱いにおいては、マイナンバー法の中で法律に基づかない収集等をした場合は刑事罰等を強化するなど不正利用を防止する対策を講じており、窓口におい

ても本人確認を厳格に行っていきます。

**認知症カフェ**

小林 英恵

問 認知症の人やその家族が交流できる場となる「認知症カフェ」の普及が必須であると考えているが市の考えは。

保健福祉部長 認知症の人やその家族、認知症に興味のある人などが交流を図れる場として、イオンモール小山内のみんなのひろばにて、認知症カフェ「オレンジカフェ」を月2回、第2・第4火曜日に、小山市介護家族の会に委託し、実施していくことになりました。今後は、このようなカフェ等を市内の各地で開くことができるよう、検討を行います。

**こども避難の家**

岡田 裕

問 こども避難の家の看板を小山市または教育委員会で作製、ストックし、各小学校の要望に応じて配布できないか。

教育長 現在、こども避難の家の看板は、一部の学校では慈善団体からの寄贈がありますが、多くの学校では小山市生活安全に関する補助金等を



活用するなどして作製しています。市で一括して作製、配布することについては、今後関係部局と協議をしていきます。

**思川駅周辺まちづくり**

渡辺 一男

**問** 思川駅周辺地域におけるまちづくりの進捗状況と今後の進め方について伺う。

**都市整備部長** 平成18年度から国のまちづくり交付金制度を活用し、駅南北自由通路および南北駅前広場アクセス道路等を整備しました。さらに、思川駅周辺地区農住まちづくり整備構想を平成21年6月に策定しました。この構想の実現は、国の進める地方創生に合致するものですので、思川駅周辺地区まちづくり推進会議を初めとした地元の皆様との協働により、引き続きまちづくりを推進していきます。

**親亡き後問題**

土方 美代

**問** 親亡き後問題について、「障がい者を支える支援者側（家族）」を支援する制度を早急に整備するべきでは。

**市長** 親亡き後問題は、障がい者を長年支えてきた親族が

死亡あるいは高齢等の理由から支えられなくなった状態で発生する問題です。この問題は、親亡き後が到来する以前から、親亡き後を見越した長期的な計画を立てていくことが重要です。任意後見制度を含めた後見制度が、親亡き後問題を解決する重要な対策であることを、本人、家族および相談支援員等の関係者にも十分周知し、適切な福祉サービスが提供できる体制を構築していきます。

**間々田小・間々田中の通学路**

渡邊 一郎

**問** 間々田小・間々田中の通学路（市道4231号線）の整備について伺う。

**建設水道部長** 当該路線の道路の幅員は5mから8mですが、千駄塚古墳付近で一部3・6m程度と狭い部分があり約130mあります。間々田小学校と間々田中学校の通学路に指定されていることから、市では、平成24年度から路側帯にグリーンベルトの設置を行い、児童や生徒の通学時の安全確保に努めています。平成24年度末までのグリーンベルトの設置延長は約940mであり、本年度以降も引

き続きグリーンベルトの設置を行っていきます。また、極端に幅員の狭い箇所については、幅員の拡張と合わせて通学時間帯の一般車両の進入禁止などの交通規制についても、小山警察署、庁内各課と連携を図りながら、安全の確保に努めていきます。



**暑中お見舞い  
申し上げます**

議長 関 良平  
副議長 角 田 良博

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 高橋 崇  | 渡邊 一郎 | 土方 美代 |
| 佐藤 忠博 | 渡辺 一男 | 嶋田 積男 |
| 森田 晃吉 | 渡部 勉  | 大木 英憲 |
| 植村 一  | 橋本 守行 | 福田 幸平 |
| 岡田 裕  | 荒井 洋一 | 篠崎 佳之 |
| 小林 英恵 | 福田 洋一 | 安藤 良子 |
| 大出 ハマ | 荒川美代子 | 小川 良子 |
| 山野井 孝 | 青木美智子 | 石川 正雄 |
| 塚原 俊夫 | 生井 貞夫 | 野村 広元 |
| 石島 政己 |       |       |



小山市議会は公職選挙法の遵守はもとより、議員本来の使命に専心するため、初盆のご挨拶ならびに暑中お見舞いのご挨拶は自粛しています。市民の皆様のご理解をお願い申し上げます。  
小山市議会議員一同

**次回定例会の予定**

9月1日(火)	本会議 (開会・議案上程)
9月3日(木)	本会議 (一般質問)
9月4日(金)	本会議 (一般質問)
9月7日(月)	本会議 (一般質問)
9月8日(火)	本会議 (一般質問・付託)
9月10日(木)	委員会
9月11日(金)	委員会
9月14日(月)	委員会
9月15日(火)	委員会
9月16日(水)	委員会
9月28日(月)	本会議 (採決・閉会)

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。

平成 27 年第 3 回定例会の傍聴者数  
6月定例会の傍聴者数は、66人でした。  
{ 6月8日=1人・10日=7人・11日=13人  
12日=17人・15日=15人・22日=9人  
29日=4人 }

# 表彰

6月に開かれた第91回全国市議会議長会定期総会の席上、次の議員が表彰されました。



議員在職 10年表彰 安藤良子議員



議員在職 20年表彰 塚原俊夫議員



正副議長在職 4年表彰 野村広元議員



正副議長在職 5年表彰 大山典男前議員

## 回復期病床設置を 知事に再度要望

4月16日の要望に引き続き、7月17日、市議会は再度、栃木県に対し、小山市に回復期病床の設置を求める要望書を提出しました。



知事に要望書を手渡す関議長

## 議会日誌

### 〔5月〕

- ▽1日 新任議員説明会
- ▽12日 議員全員協議会
- ▽20日 会派代表者会議
- ▽22日 議会運営委員会
- ▽25日～26日 栃木県市議会議長会議
- ▽27日～28日 関東市議会議長会定期総会
- ▽29日 会派代表者会議
- 〔6月〕
- ▽2日 議会運営委員会
- ▽4日 議会広報委員会／議員説明会
- ▽15日 正副常任委員長会議
- ▽17日 民生常任委員会／全市議会議長会定期総会
- ▽18日 教育経済常任委員会

### 〔7月〕

- ▽7日 議員説明会
- ▽9日 栃木県南6市議会議長会研修会・定例会
- ▽13日 議会広報委員会
- ▽17日 県に要望書を提出
- 〔5月〕
- ▽14日 四国中央市(愛媛県)6名Ⅱ工業団地の整備
- ▽21日 野木町(栃木県)1名Ⅱ定例記者会見
- ▽19日 建設水道常任委員会
- ▽22日 総務常任委員会
- ▽23日 予算審査常任委員会
- ▽29日 議会報告会運営委員会／旧市民病院施設活用等検討特別委員会

## 視察来訪

- ▽7日 議員説明会
- ▽9日 栃木県南6市議会議長会研修会・定例会
- ▽13日 議会広報委員会
- ▽17日 県に要望書を提出

## 定住自立圏 中心市宣言

定例会最終日の6月29日、大久保市長が、小山市、下野市、野木町、結城市を圏域とする小山地区定住自立圏構想の実現を目指し、圏域内の住民の生活機能を確認し、地域の魅力を向上させる中心的な役割を担う意思表明として、「中心市宣言」を行いました。



中心市宣言を行う大久保市長(中央)

## 編集 後記

4年に1度の女子サッカーのワールドカップが開催され、なでしこは準優勝に輝きました。選手達は2連覇を目標にしていました。4年前の決勝の相手であるアメリカに大敗し、大粒の涙を流した選手たちの姿は記憶に新しいところです。

宮間キャプテンは「女子サッカーをブームではなく文化にしたい」という言葉を残してくれました。同じサッカーでも男子と女子では観客数も報酬も全く違い、なでしこの選手の中にはアルバイトで生計を立てている選手もいるようです。

なでしこの選手達が結果にこだわるのは、こうした環境を改善していきたいという強い覚悟があるからだと思えます。スポーツに限らず、すべての女性が活躍できる文化となることを願ってやみません。(小林)